

# 1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 2F)

|         |                 |       |                  |
|---------|-----------------|-------|------------------|
| 事業所番号   | 0670400969      |       |                  |
| 法人名     | 株式会社 ジェイバック     |       |                  |
| 事業所名    | もも太郎さん米沢        |       |                  |
| 所在地     | 山形県米沢市通町5丁目3-46 |       |                  |
| 自己評価作成日 | 平成 28 年 2 月 9 日 | 開設年月日 | 平成 16 年 2 月 16 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※1ユニット目に記載

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/06/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/06/index.php</a> |
|----------|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※1ユニット目に記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |         |               |
|-------|---------------------|---------|---------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 エール・フォーユー |         |               |
| 所在地   | 山形県山形市小白川町二丁目3番31号  |         |               |
| 訪問調査日 | 平成 28年 3月 4日        | 評価結果決定日 | 平成 28年 3月 29日 |

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 55 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 62 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 56 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,37)         | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 63 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 57 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:37)               | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 64 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 58 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:35,36) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 59 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:48)              | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:29,30)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 51 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |                       |   |

## 山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                    |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 管理者、職員共に独自の理念、接遇スローガンを唱和する事で共有し、地域密着型の意義を踏まえ実践につなげている  |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | 町内会の早朝清掃や一般行事による伝統的行事へ参加している。又、当事業所の行事には町内会の方を招き交流を深めている                                     |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | 主に町内会役員を通じ、当施設の役割や認知症に対しての理解を得られるよう地域の方々に発信して頂いている。  |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている  | 運営推進会議は2ヵ月に1回行い、町内会役員、民生委員、市職員、利用者様及びご家族様との話し合いの場を設け、当施設へのご意見やご要望、又ご指示等を伺いながらサービスの向上に活かしている。 |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 運営推進会議の他、介護相談員の訪問を受け入れ、より多くのご意見や情報を頂戴し、当施設の取組み及び実情をお伝えし、協力関係を築けるよう取り組んでいる。                   |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる | 玄関の施錠は夜間帯だけで日中は行っておりません。内部研修や勉強会等を行い身体拘束に対し、正しい知識を持ち又理解し、利用者様一人一人の尊厳を守り身体拘束を行わないケアに努めている。    |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|---|---|------|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 虐待防止、法的問題、事故問題などを委員会及び管理者を主に学習し、情報を職員間で共有し虐待防止に努めている。                                       |      |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 青年後見人制度を活用されておられる利用者様がおり、青年後見人制度や権利擁護について学習職する機会もある。それらを活用し支援を行っている。                        |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約時や解約時、改定時にご家族様、利用者様に納得して頂けるまで丁寧な説明を行い、理解して頂けるよう努めている。                                     |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | 担当の職員が利用者様と関わりを持ち、ご要望等をお聞きしている。ご家族様に対しては、玄関に御意見箱を設置し、又面会時や電話などで御意見、ご要望等をお聞きし、それらを運営に反映している。 |      |                   |
| 11 |     | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 事業所内で改善シートがあり、職員が自由に意見や要望を述べられる。必要に応じ管理者が個別に面談を行い又、全職員との話し合いの場を設けそれらを反映している。                |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 職員がやりがいを持って働けるよう職場環境や勤務及び待遇に関しての要望を取り入れ、より良い就業環境創りに努めている。                                   |      |                   |
| 13 | (7) | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている       | 毎月行う職員会議の中で勉強会を実施しており又、外部研修にも積極的に参加しそれら情報を職員全員で共有しケアに活かしている。                                |      |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価   |      | 外部評価              |  |
|------------------------------|-----|--|--|------|-------------------|--|
|                              |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 14                           | (8) | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 県グループホーム協会置賜ブロック交換実習、研修会等に参加し同業者との意見交換を行い、それら活動で得た情報をサービスの向上に活かしている。                                       |      |                   |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |  |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | ご本人様が安心して生活を送る事が出来るよう初期の時点から実態調査を行い、アセスメント、ケアプランに盛り込み、安心を確保するための関係作りに努めている。                                |      |                   |  |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                   | 実態調査でご本人様、ご家族様の思いを真摯に受け止め、不安や要望等を傾聴し信頼関係の構築に努めている。   |      |                   |  |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている               | ご本人様とご家族様の望んでいる事を伺い、必要とする支援を適切に判断、見極め行い質の良いサービス提供に努めている。   |      |                   |  |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 利用者様、職員共に協力し合い、安心して過ごせ暮らしを共にできる関係を築くように努めている。  |      |                   |  |
| 19                           |     | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 「家族の絆」を理念とし、ご家族様の面会時や電話での報告を通して情報を共有すると共に、本人様と共に支え合う家族との関係を築いている。  |      |                   |  |
| 20                           |     | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 馴染みの方との交流が気軽に行える環境を整え、知人が遠慮なく面会に来て頂ける様に利用者様、ご家族様にお伝えしております。又、外出の際には、馴染みの場所や思い出の場所を巡り、当時の思い出などでお話をお伺いしています。 |      |                   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 利用者様同士が会話や行動が楽しめる様に職員が間に入り、スムーズにコミュニケーションがとれ、関わりが持てる様支援に努めている。                   |      |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約終了後もご家族様からの相談があれば、随時対応している。必要に応じて状況の確認やフォローをさせて頂いている。                          |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人様本位の生活ができるよう入所前の生活歴を利用者様、ご家族様からお聞きし、どの様な暮らし方が良いのかを職員間で話し合いご希望や意向に添った支援を行っている。 |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | これまでの生活環境等を利用者様、ご家族様にお聞きし、又、面会に来られたご友人様、ご近所の方に伺い生活歴の把握に努めている。                    |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 徹底した様子観察を行い、心身状態、生活のリズムを把握し現状の力等の把握に努めている。                                       |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月のカンファレンス、モニタリングでそれぞれの意見やアイデアを反映し又、ご家族様からの意向を伺い生活支援計画書を作成している。                  |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録等は生活支援計画に基づき、気づきや工夫を記入し、それを職員同士が確認、共有しそれを生活支援計画書の見直しに活かしている。                 |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  |      | 外部評価              |  |
|----|------|---|---|------|-------------------|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 28 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している  | 町内会行事や町内会清掃に参加し、楽しみながら地域の方々との交流を図れるよう支援している。                                |      |                   |  |
| 29 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | 月2回往診に来て頂き、その他日々の体調不良では職員が通院介助を行い、又、急変時はかかりつけ医に指示を仰ぎ、適切な医療を受けられるように支援している。  |      |                   |  |
| 30 |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している   | 看護職員がいない為、日常の健康管理は職員が行い、体調不良及び急変時はかかりつけ医の指示を仰いでいる。                          |      |                   |  |
| 31 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者様が入院されている期間は職員が2日おきに面会に行き、その都度看護師から状態をお聞きし情報の交換を行いながら病院関係者との関係づくりを行っている。 |      |                   |  |
| 32 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる                    | 重度化や終末期のある場合は、主治医、ご家族様と相談、方針を共有しながら事業所が出来る事を説明し、事業所が出来る範囲で支援を行っている。         |      |                   |  |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている            | 職員全員が救命救急講習を受けており、又、事業所内勉強会などで急変や事故等に対する対応を身に付けている。   |      |                   |
| 34                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている            | 消防職員立会いでの避難訓練を年1回行っており、又、事業所独自の避難訓練を定期的に行っている。火災以外の緊急時対策として災害時マニュアルを作成しており、緊急時に備え職員が対応出来るよう努めている。又、地域運営推進会議を通じ地域の方々の協力をお願いしている。 |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |      |                   |
| 35                               | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                 | 一人一人の誇りを尊重し、羞恥心、自尊心に配慮した言葉掛けや対応を行っている。  |      |                   |
| 36                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 利用者様のご希望や思いを真摯に受け止め、ご本人様のご自分の希望や思いを話せる雰囲気作りに努め、自己決定が出来る様支援している。   |      |                   |
| 37                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者様一人一人のペースに合わせ、その人添った支援を行いご本人様本位の日常が送られる様に支援している。   |      |                   |
| 38                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 自己決定を尊重し、その人らしいおしゃれが出来る様支援している。又、定期的に理容師に来て頂き本人様のご希望する整容が出来るよう支援している。   |      |                   |
| 39                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 調理の下ごしらえや食事後の片付け等を職員と一緒に行って頂き、食事の楽しみが増すよう支援している。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている               | 毎日の食事量と水分量は一人一人のチェック表にて把握しており、不足と思われる場合は個別援助を行い支援している。   |      |                   |
| 41 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 食後、就寝前に声掛けを行い、歯磨きやうがいをさせて頂いております。義歯の方は、夜間ポリドントで洗浄して頂ける様支援しています。  |      |                   |
| 42 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている        | 入居者様一人一人に合わせて声掛けを行い、誘導、介助を行っている。状態や仕草を把握し、羞恥心、自尊心に配慮し支援している。   |      |                   |
| 43 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                        | 食事では繊維質の多い野菜や乳製品を提供するように心掛けております。便秘の方には水分を多く摂って頂き、必要に応じかかりつけ医の指示を仰ぎ、服薬による排便のコントロールを行っている。                          |      |                   |
| 44 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 入浴は毎日提供しておりますが、利用者様の体調やご気分を考慮し行っております。気持ち良く入浴が出来る様心がけ支援しています。  |      |                   |
| 45 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                         | 一人一人の生活習慣に合わせて休息の声掛けを行っております。心の安定を図り心身共に安心して眠れる環境作りに努めています。  |      |                   |
| 46 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                    | 職員が利用者様の服用される薬を理解しており、服薬前、服薬中、服薬後と職員による確認、薬に記載された名前とご本人様の確認を行い、間違いの無いように服薬して頂いている。又、状態に変化が見られた場合は主治医の指示を仰ぎ支援しています。 |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | 楽しみのある生活が出来るよう一人一人の個性を大切にし毎日のレク活動、行事等などの時間を楽しく過ごして頂き気分転換が図れるよう支援している。   |      |                   |
| 48 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 利用者様のご希望を取り入れ、ドライブや外食等を行い、バスハイクではご家族様にも参加して頂き楽しい時間を過ごして頂けるよう支援している。又、会話の中から推察し「、行きたい、観たい、ほしい物」がある場所に行けるように支援している。 |      |                   |
| 49 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 自己管理が可能な利用者様もおられ、ご本人様のご希望を尊重して所持し使えるようにしている。又、買い物の際はご自分で支払いをして頂ける様支援している。   |      |                   |
| 50 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話をされる方には番号を間違わないように見守りを行い、手紙は住所、名前が違わないよう確認を行い支援している。  |      |                   |
| 51 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホール、玄関には季節の花、又、ホールには季節を感じて頂けるような飾り付けを利用者様と一緒にやっている。ホール、居室、浴室には室温計を設置し、温度や湿度の管理を行い快適な空間作りに努めている。                   |      |                   |
| 52 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 好きな場所で好きな時間にテレビや雑誌等を楽しまれ、気の合った入居者様同士で談笑できるような居場所作りを工夫している。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室のレイアウトはご本人様のご希望やご家族様の希望を尊重し、居心地良く「安心、安全」に生活が出来るように工夫を行っている。                     |      |                   |
| 54 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内はバリアフリーになっており廊下やトイレには手すりを設置しております。共同空間には目印を付ける等の工夫を行い、出来る事はご自分で行って頂けるよう支援している。 |      |                   |